

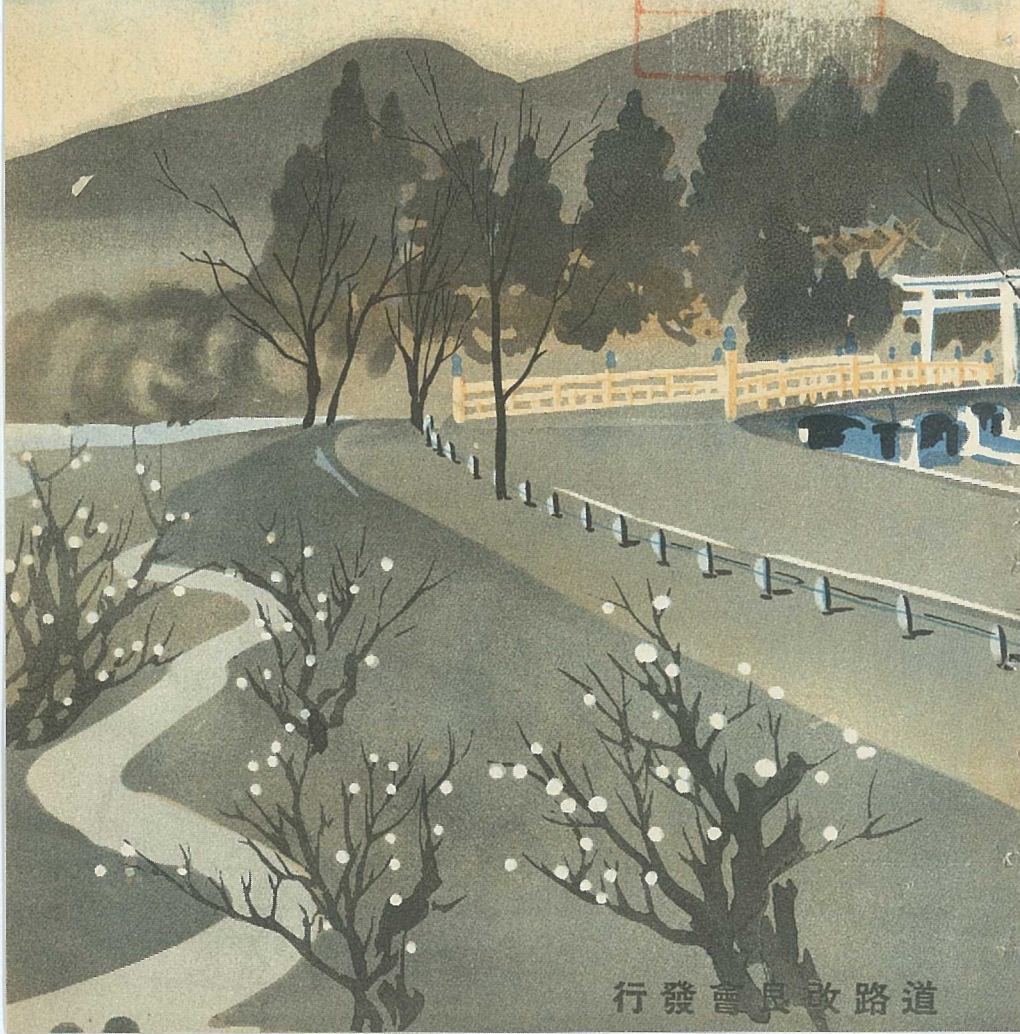
道路の改良

昭和二年二月二十五日印刷
昭和四年三月一日(毎月一回)一日發行

禁轉載

第三號

第十二卷



道路改良會發行

鋪裝報國

鋪

東京・丸之内

日本鋪道株式會社

社長 淺利 三 朗

東京大阪福岡札幌京城台北新京橫濱名古屋京都

國四 · 京東 · 場五 · 戶水 · 屋古名 · 府別 · 阪大 · 所張出
 了 工 劑 製 前

五 號
 業 工 材 瀝 京 東
 橋京話電
 卷 / 三 西 座 銀 區 橋 京 市 京 東

道路の改良 第二十一卷 第三號 目次 昭和十四年三月一日發行

口繪 瀧川橋 (茨城縣)

卷頭言

論說

都市計畫の精神的意義……………慶應大學教授 奥井復太郎 (三)

研究

路床用砂、粘土混合材の研究(一)……………内務省土木試験所 永富勸四郎 (二六)

列國路政の近狀……………内務事務官 細田德壽 (三〇)

道路工事の請負に於ける危険負擔に就て……………内務省 田口二郎 (四九)

道路占用に關する報價契約について(二)……………内務省 鈴木慶太郎 (六〇)

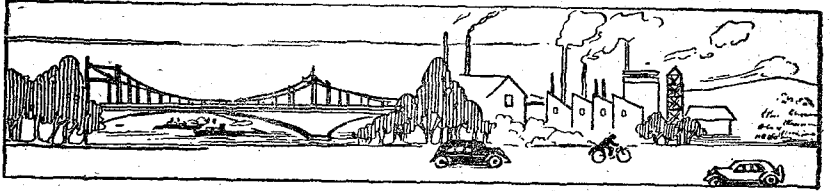
技術

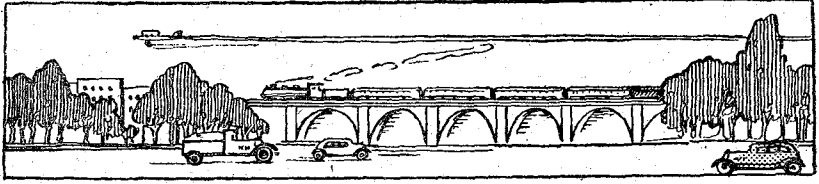
自動車による路面試験結果に基く

道路改良計畫の樹立に就て……………内務省土木試験所長 藤井眞透 (七〇)

低溫に於けるアスファルト及びアスファルト
鋪裝の物理的性質(一)……………内務省土木試験所 松本榮 (八四)

說苑





帝國議會から路政問題を聴く (一) 一 記者 (九一)

紀元二千六百年奉祝記念事業と
御陵參拜道路の改良 紀元二千六百年祝典事務局 守屋秋太郎 (一〇三)

地方議會に道路鋪裝問題を視る 鋪裝子 (一三三)

三浦七郎氏を迎へて K A 生 (一四三)

時局日誌 Y H 生 (一四六)

地方通信

北海道・東北・關東・北陸・東海・近畿・中國・四國の各地方 (一五六)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例 M O 生 (一六三)

路政問答

行政區劃の境界に係る町村道橋梁の管理者に對する第一次監督官廳 (一七三)

路政春秋

關門隧道の工作に心臓の高鳴るは誰ぞ——其他 (一七六)

雜報

◎特別會員放評議員及理事委囑◎道路功績者の表彰◎幹事委囑◎上海恒産會社へ入社諸氏
決定◎内務省土木試驗所談話會◎關谷地方幹事逝去◎理事會開催◎近刊圖書雜誌 (一七九)

叙任辭令 (一八四)

編輯室の内外 (一八六)

書修獨の者務實木土

座講木土用實

初級と上級

度程等(中)

春期新學期開始 新會員大募集

世は技術時代である。土木技術は國本である。

土木を以て身を立てんと欲する人のために、又島國日本より大陸日本へ進出せんと欲する人のために、本講座を捧げる。之は退嬰から進取への乗換切符である。

▼兩講座共初代内務省土木試験所長、元東京市土木局長牧彦七博士の綜管下に、内務・鐵道・農林・逓信四省、滿洲國政府・東京市役所・北京特別市公署・其他の關係諸先生の執筆に成る時好の最良書である。

▼初級講座には土木製圖・測量學・應用力學・土木材料・施工法・鐵筋コンクリート・河川工學・砂防工學・港灣・道路・橋梁・鐵道工學・發電水力・都市計畫・上水道・下水道の外に科外講話あり。一年三ヶ月修了。毎月一册配本。會費金壹圓參拾錢前納。全卷即時配本可能。

▼上級講座には簡易鋪裝・セメント系鋪裝・コンクリート橋梁及溝橋・隧道工・河港及運河・基礎工・擁壁工・農業土木・航空土木・防空土木・高速鐵道・軌道及特殊鐵道・土木用機械・土地質學・土木工事監督・土木行政法綱要・應用電氣工學等あり。一ヶ年終了。毎月一册配本。會費金壹圓五拾錢前納。昭和十三年七月開講。

▼送料每卷市内六錢、地方十四錢、臺・樺・鮮・滿・各二十錢各自負擔。
▼申込期限は來る五月十五日。
▼期限内申込には種々特典があります。

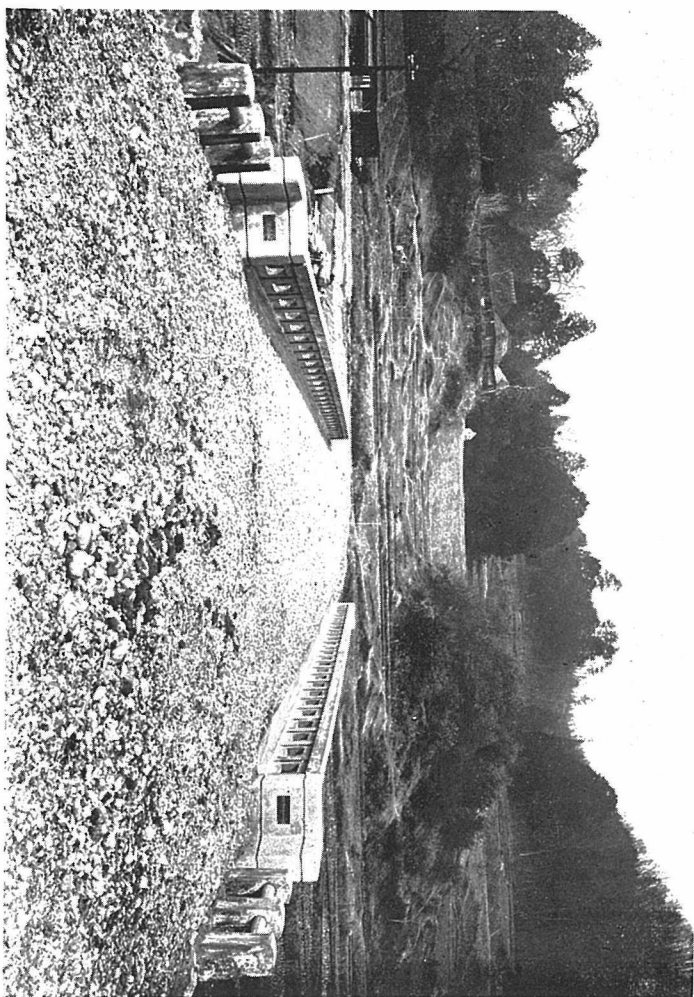
内容見本無代進呈

東京市世田谷區上馬町一ノ六五九番地

日本土木工學會

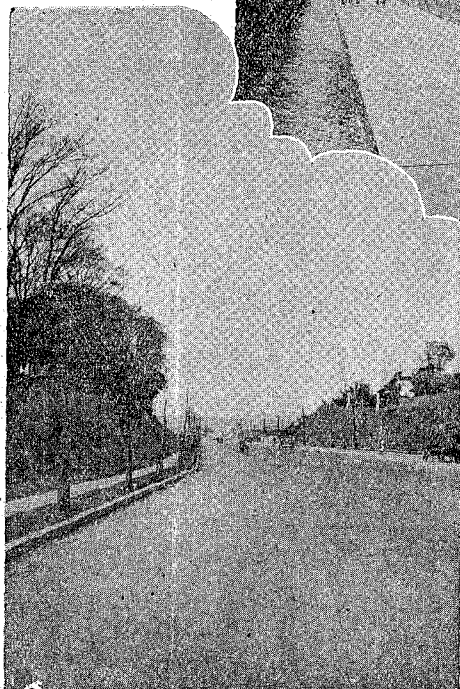
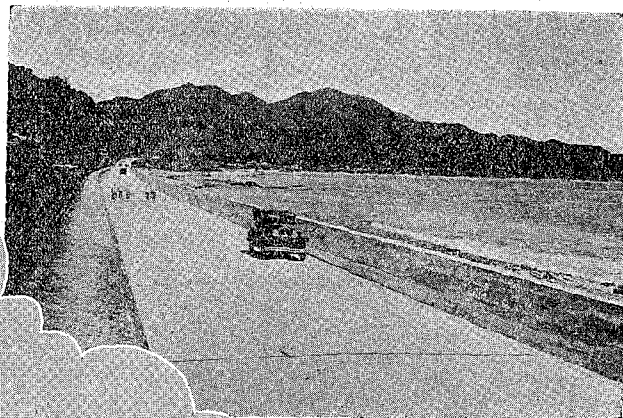
振替東京二〇八三四番

瀧川橋 (茨城縣)



本誌地方通信欄參照

静岡縣由比國道
→
ベロセメント使用



早 強
アサノ
ベロセメント

強 度 高 ク
硬 リ 早 ク
使 テ 經 濟

↑大宮街道志村附近
淺野セメント使用

—説明書御申込次第送呈—

淺野セメント株式會社

東京市 丸ノ内 海上ビル

一般土木建築鋪裝
材料製造販賣

國產ネオソリデチット製 造 販 賣
 ネオソリデチットブロック及各種コンクリート加工品製造販賣
 ミクニアスファルト乳劑及ミクニアスファルト乳素製造販賣
 ミクニエラストタイト其他アスファルト加工品製造販賣
 早山石油株式會社製アスファルト特約販賣
 東邦石油株式會社製アスファルト特約販賣
 日本製鐵八幡製鐵所製タール及鑛滓パラス一手販賣
 日本鋼管株式會社製タール及鑛滓パラス一手販賣
 大日本アスファルト製アスファルトブロック一手販賣
 工業株式會社製アスファルトブロック一手販賣



日本ソリデチット株式會社

一般土木建築各種
鋪裝工事請負

型錄贈呈

本 社 東京市京橋區京橋三丁目二番地(片倉ビル)
 電話京橋二七七二、五三三二番
 大阪出張所 大阪市東區北濱二丁目九〇番地(片倉ビル)
 電話北濱三六一九番
 九州出張所 八幡市竹下町一丁目八二六番地
 電話八幡一三三五番
 名古屋營業所 名古屋市中區南大津通六丁目三番地(片倉ビル内)
 電話中三四九五番
 北海道出張所 札幌市豊平五條三丁目八一番地
 電話札幌三五三〇番
 工場 品川、蒲田、大坂

！づ出本配周九第
機 燃 内

所究研空航
師 技

定 井 石

大講座 學工械機興新

・頁十五百二卷每製上菊卷三十全
載滿版圖密精
錢十五圓二 月 費 會

機成養的成速の者術技秀優
書導指際實の切懇易平。ノ關

！づ出本配周七第

・道隧・路道
壁擁・鐵下地
西 河・井 藤
松 末・山 内

大講座 學工ク筋鐵

・頁十五百二卷每製上菊卷八全
載滿版圖密精
錢十五圓二 月 費 會

實の位本場現つ立に役グス
集全大の望翹ノ書導指的際

！づ出本配周十第
學工道隧

師 技 道 鐵

郎一周藤佐

大講座 學工木土

均平頁百四卷每製上菊卷九十全
載滿版圖
錢十五圓三 月 費 會

本る依に者威權高最的地實
る成學工木土驗實の得獨邦

スルア

町保神田神京東
八八八四二京東諸振
六七二・五七二段九話電

社本でキカハ
次越申御二宛
すまし呈進第

呈進本見容内

躍進工業日本の推進力
學界空前の一大編隊!!

二 岡 碩大 教授大北	ンピータ殊特用場工
一 藤 山 藤 士 學 工	論理機動發空航
一 藤 山 藤 士 學 工	論理機動發空航
關行 檢部本政 監 理 本 日	準標業作造鑄
關行 檢部本政 監 理 本 日	準標業作造鑄
一 藤 野 日 教授大東 藤 野 日 士 學 工	學 法 療 氣 電
夫 藤 原 吉 教授大北	罐 汽 蒸
平 福 屋 訶 藤 士 博 學 工	梁 續 連
郎 三 新 野 佐 教授大北	要 綱 簡 脚
郎 四 雄 野 田 士 博 學 工 藤 野 田 士 博 學 工	料 材 機 空 航
兄 藤 野 小 (藤野強) 士 博 學 工	度 強 及 造 構 の 路 線 道 鐵
兄 藤 野 小 (藤野強) 士 博 學 工	度 強 及 造 構 の 路 線 道 鐵
郎 次 敏 川 小 士 博 學 工	法 計 設 材 部 土 凝 混 筋 鐵

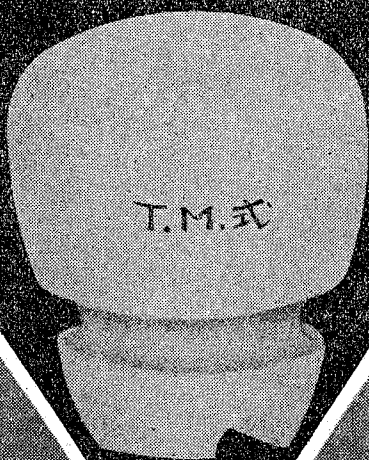
工業日本の精粹ノ各部門を代表する機成者の執筆になる空前の名著ノ工業の全般に亘り簡潔明快、其の要點を縮纏した最新知識の一大集成ノ學界並に關係業者の必讀を乞ふ。

アルヌ工學全書

・明鏡・外内頁百二各・判紙半函・
・裝ス・ロク端・載滿並挿表圖・
・應懸挿圖・本 洒 滴 半 函・入 函・

圓一各 定價

強力陶製
 T.M.式交通標識鉄
 國策二副、金屬代用品



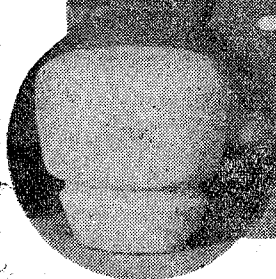
本店

東京市下谷區竹町五〇番地
 電話 下谷 八六二二番

出張所

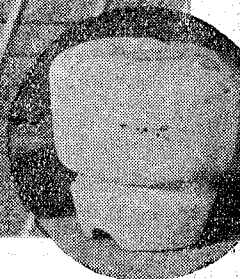
東京市目黒區下目黒三ノ五三
 電話 大崎 二七三五番

田尻商會

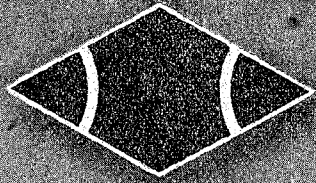


R 型一號

O 型一號



R 型三號



アスファルト

販
売

ウオーターアスルト

スプレッドアスルト

スモークアスルト

スロウアスルト

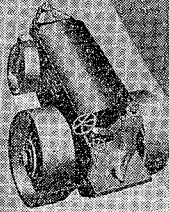
施
工

小倉石油株式会社
専属販売店

株式
會社

南部商會

本店 東京丸の内三基六号館 電話丸の内 1654 3014
出張所 名古屋市中区南大津通東陽ビル 電話中国 27 85 番



事互装舗路道トルアフスア

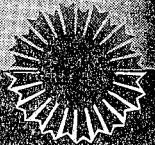
事互装舗トルアフターホウ割乳青瀝

費販理代トルアフターホウトルアフスア倉小

責販造製グソイフールヒサア

社會式株木工市都

地番二日丁一橋京區橋京市京東
番八六二二(56)橋京 話電

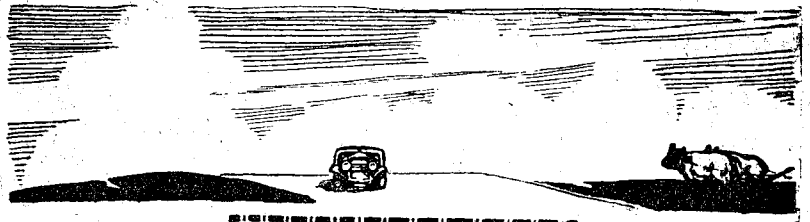


昭和十四年

道路の改良

三月一日

第十二卷
第三號



言 頭 卷

平沼内閣總理大臣は二月五日ラヂオを通して國民に其の所信を披瀝せられたが、日支事變が愈々東亞新秩序建設の段階に入つて軍力行使のみ時代の日本國民の總力を擧げて政治に經濟に文化に再創造を遂行しなければならぬ時代に達したるの秋に、我國が古き歴史あるにも拘らず國家興亡の鐵則を超越して常に新らしき生活力に溢れ不斷の發展を遂げつゝあるは實に我國の政治が萬民輔翼を基礎として行はれ來つた爲めである、第三國の疑惑や誤解によつて孤疑逡巡するが如きは輔翼の精神を以て一切の努力を傾注せねばならぬ、之が爲には政府としては必要なる國內諸般の改新を行ひ舊來の陋習を打破し萬民輔翼の實を擧ぐるの決意である、と述べられた、さすがに老軀をさへ上げて國難打破の局に當られたるの熱意と眞摯なる精神とが表現されて居る。

乍去、帝國議會には近衛内閣の政策に基く案件が提出されて未だ平沼内閣の政策に基く案件が提出さるゝ機なきを思はしめらるゝ、而かも近衛内閣に於て提案さるべく約束づけられたる町村制改正案が不提出と發表せらるるに至つた事に依りて平沼内閣が國內諸般の刷新を行ひ舊來の陋習を打破せんとする意圖を公表しながらも或は消極的に出づるにはあらざるかを感じしめらるゝを禁じ得ないものがある、町村制改正案即ち農村自治の革新の内容如何は未だ窺知するを許されざるも曩日發表せられたる改正要綱に徴するに町村農會長の如き信用組合長の如き町村民の生活に密接なる關係を有する團體の長を町村會議員に加へ得るの途を披くが如き、或は町村内の諸團體に對し中樞的關係能を町村に賦與するが如き夙に吾曹の主唱し來りたる所である、若し夫れ都市計畫の如き道路橋梁等交通設備の如き上下水道等保健設備の如き將又生産消費の方面たる經濟的脈絡の如き町村と都市とは唇齒輔車の關係を有する然るに市制に對して何故に革新を加ふる所なきかの點に思及する時に吾曹は一の疑念を懷かざるを得ない。

今次内閣書記官長をして先例に乏しき議案不提出の理由を發表せしむる所があつた。現内閣としては蓋し已むを得ざる措置であらう。

吾曹は念ふ、今や我日本は國家總力の高度的發揚を絶対に必要とするに至つたのである。故に個人も團體も自己の福利如何を問題として攻究するの秋でなく一切の自己をさへ上げて犠牲たらしむるの一大覺悟を以て行動しなげればならぬ、我日本の興廢は今日に在りて謂ふも過言ではない所であらう、東亞新秩序の建設、日本新文化の創造は論じ易きも行ひ難きは敢て吾曹の言を俟たない所である、我國未曾有の機會に直面して居る時代に地方制度に對して技術的改正を加ふるよりも寧ろ他日を俟つて徐ろに地方自治の本義に檢討を加へ根本的革新を施すことが常時國運の伸暢に貢獻する所の大なるを思惟せらるゝのである。(汎民)